PCW-1386(20100)

施工説明書

RA シリーズ

CW-RAA2 型

この度は当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。

施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

このQRコードはメーカー管理用です。

施工手順

1. 止水栓を閉める
2. 既存便器の取外し（既存の便座を取り替える場合）
3. 分岐金具の取付け
4. 便器の取付穴位置の確認
5. 本体着脱プレートの取付け
6. シャワートイレ本体の取付け
7. 給水ホースの取付け
8. 電源の接続
9. リモコンの位置決め・取付け
10. 試運転

お客さまへ
本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの取扱店にご相談ください。
なお、LIXIL 修理受付センターでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで
ナビダイヤル　TEL 0570-017-173
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土･日･祝日 9:00 ～ 17:00(ゴールデンウィーク･夏期･年末年始の休みは除く)

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客さまにお任せください。
シャワートイレの快適機能は、お客さまの好みで設定する必要があります。したがって、できる限り、お客さまで設定するようお願いいたします。もし、施工業者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
特に**節電機能**は、お客さまが意識していないと、便座が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。代表的な快適機能には、
●便座・温水の温度　●脱臭機能　●節電機能
●便座ヒーターオート OFF
などがあります。
※ 試運転確認後、必ずお買い上げ時の設定に戻してください。（洗浄位置【前】と【節電入／切】を同じタイミングで 2 秒以上押す）
※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

電源の確認

配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。**配線工事は電気工事店にご依頼ください。**

- コンセントは **AC100V、定格消費電力 1320 W**に適した**アースターミナル付接地極付コンセント**を使用してください。
  すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
- **定格消費電力に適した配線を行ってください。**
- **必ずアースターミナルは、D 種接地工事に準じた工事を行ってください。**
  アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
- コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは 1000mm です。
  ※ 施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。

便器の確認

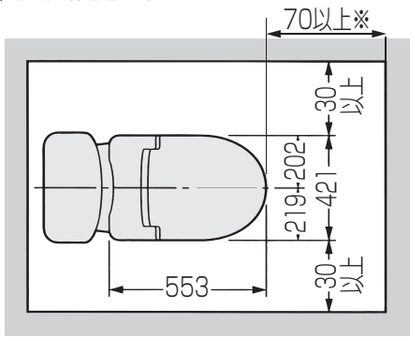
1. 便器の大きさ、隅付タンク式便器の取付条件はカタログなどにてご確認ください。
2. 本体給水ホースの使用可能な条件
同梱の本体給水ホースは 950mm ですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は 800mm 以内が適切です。
※ 800mm 以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホース CWA-27D（1350mm）または CWA-28D（2000mm）を手配してください。
3. タンク給水ホースの使用可能な条件
止水栓とロータンクの間の距離によって使用できない場合があります。
- 止水栓とロータンクの間の距離が **150mm ～ 300mm の場合：**
  タンク給水ホースが使用できます。
  9 ページ [補足2] をご覧ください。
- 止水栓とロータンクの間の距離が **150mm ～ 300mm 以外の場合：**
  タンク給水ホースが使用できません。
  ※ 既存のサプライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
  8 ページ [補足 1] をご覧ください。

使用する水は？

- 給水は必ず水道水に接続してください。
  中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
- 給水圧力は 0.06MPa {0.6kgf/cm^2} ～ 0.75MPa {7.5kgf/cm^2} 必要です。
  0.06MPa {0.6kgf/cm^2} 以下の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
- 給水は便器の止水栓から取ってください。
  フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。
トイレ室内に十分なスペースがあることと、障害物がないことを確認してください。
空間が確保できないと、動作の妨げになる場合があります。
※ シャワートイレ本体を取付け、取外しする際に、スライド着脱が出来るように 70mm 以上の空間を確保してください。



準備工具

- モンキーレンチ（26mm 以上調節可のもの）またはスパナ類（23 ～ 26mm）
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- パイプカッター（サプライ管を切断する場合）

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明
警告 … 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
注意 … 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

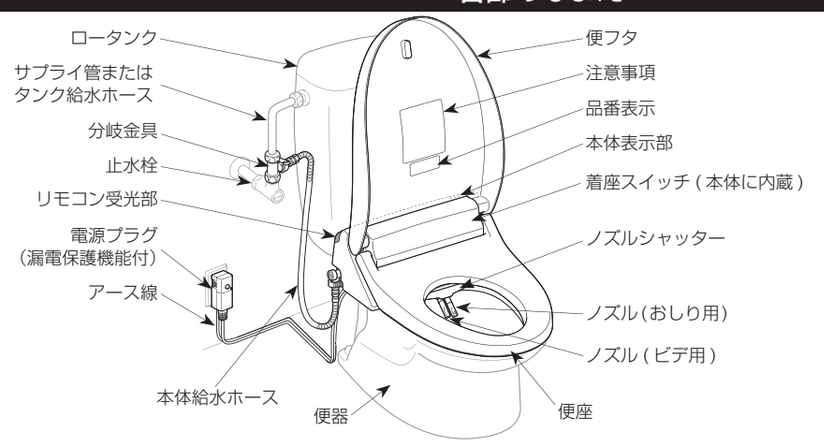
⚠ 警告

- 指示実行：施工説明書に従い、正しく施工する。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 分解禁止：分解や改造は絶対に行わない。
  ※ 感電・火災・ケガの原因になります。
- ぬれ手禁止：ぬれた手で、電源プラグを抜差ししない。
  ※ 感電の恐れがあります。
- 指示実行：電源プラグの抜差しはプラグ本体を持って行う。
  ※ コード部を持って抜差しを行うとプラグやコードが破損し、感電や火災の恐れがあります。
- 水かけ禁止：本体や電源プラグに水や洗剤を掛けない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止：
  ●AC100V 以外では使用しない。
  ●タコ足配線はしない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 指示実行：電源プラグは根元まで十分差し込む。
  ※ 感電・火災の恐れがあります。
- 禁止：電源コードにキズを付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない。
  ※ 電源コードが破損し、感電・火災の恐れがあります。
- 禁止：ガタついているコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- アース接続：アース線はコンセントのアースターミナルへ確実に接続する。
  ※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
  ※ アースの接続は、電気工事店にご相談ください。
- 水場使用禁止：バスルームなどの湿気の多い場所には設置しない。
  ※ 感電・火災の原因になります。
- 禁止：水道水以外に接続しない。
  ※ 機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因になります。

⚠ 注意

- 指示実行：製品を接続する前に、必ず配管中の異物・サビなどを洗い流す。
  ※ 製品内部を傷めて漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行：
  ●ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締める。
  ●ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
  ※ O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。
- 指示実行：止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行う。
  ※ 漏水し、室内浸水の原因になります。
- 指示実行：お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておく。
  ※ 凍結破損により漏水し、室内浸水の原因になります。
  ※ 凍結破損により火災の原因になります。
- 指示実行：新築・改修工事後や、水道断水の復旧後は、必ず配管内の空気を抜く。
  ※ 配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

各部のなまえ



本体右側面

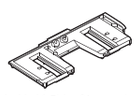
同梱部品の確認

□内の数字は施工手順の番号を示しています。

1

分岐金具

パッキン（黒：厚さ 2mm）

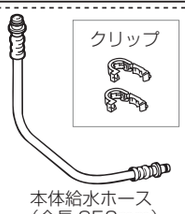
2

本体着脱プレート

本体取付ボルト

半球パッキン
スリップワッシャー
六角ナット

3 シャワートイレ本体

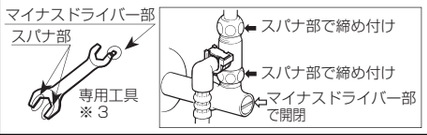
※ 脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。

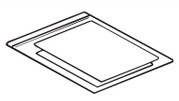


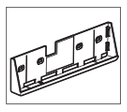
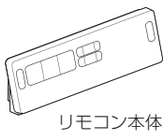
本体給水ホース（全長 950mm）

パッキンセット
パッキン（青：厚さ 2mm）
スリップワッシャー ※ 1
パッキン（黒：厚さ 4mm）※ 1

取付セット

パッキン（青：厚さ 2mm）
ストレーナー（網）※ 2



説明書セット

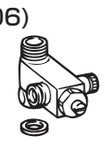
6

ホルダー
※ ホルダーは本体裏面に付いた状態ですが、スライドさせると外せます。

リモコン本体
木ねじ
プラスチックアンカー
電池（単三形 2 本）

※ 1： 既存のサプライ管を切断した場合に使用します。
※ 2： TOTO 便器、または INAX ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。
※ 3： 専用工具は、シャワートイレの取付けだけに使用してください。シャワートイレ以外に使用すると、対象物を破損させる恐れがあります。

別売品

取替用分岐金具 (PK-CWA-89)
※ 止水栓とロータンクのナット（給水部）の距離が 15cm 以下または、30cm 以上の場合におすすめします。
※ ドライバー式、ハンドル式の止水栓に対応します。（内ネジ式の止水栓には取り付けできません。）
※ 止水栓の右側に 10cm 以上のスペースが必要です。

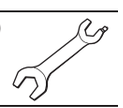
本体給水ホース
(CWA-27D：全長 1350mm)
(CWA-28D：全長 2000mm)

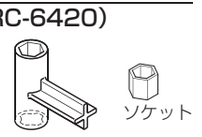
止水栓付分岐栓 (CF-006)
※ 止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。
※ シャワートイレ側の給水を止水できます。


パッキン (青：外径 18mm、内径 12mm、厚さ 2mm)50-15(1P)

※ パッキン (青) とタンク給水ホースはセットではありません。それぞれを別途手配してください。

パッキンセット (200-640)

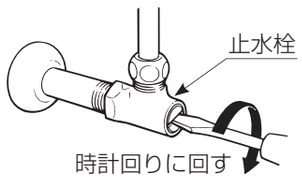
専用工具 (361-1002)


便座着脱工具 (RC-6420)
※ 別売品はソケット付です。


1 止水栓を閉める

便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっぱいに閉め、給水を止めます。

※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



2 既存の便座の取外し

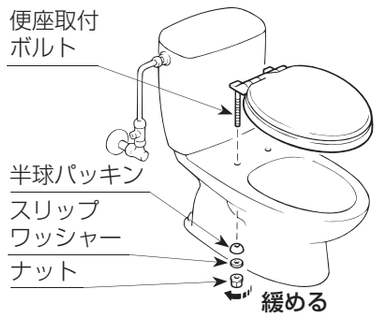
既存の便座を取り替える場合、以下の手順をご覧ください。

※便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。

※取り外した便座は、引っ越しのことなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

■ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



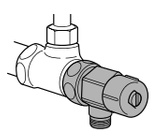
■さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトを緩めて、ボルトを下に押し込む。
3. さや２本を便器から抜きとる。

※既存のシャワートイレを取り替える場合、シャワートイレ本体の取扱説明書をご覧ください。

3 分岐金具の取付け【注意 3-1 参照】

※右図のような他社製分岐金具がすでに取り付けられている場合は、別売のPK-CWA-89（取替用分岐金具）を手配してください。

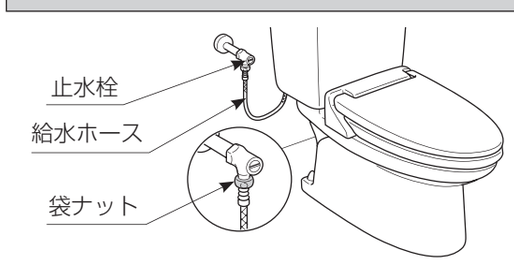


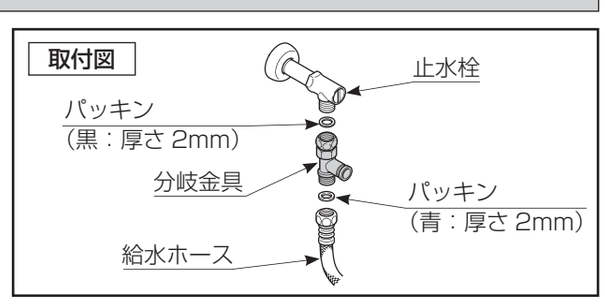
給水を確認する。

止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。

※サプライ管を取り付ける場合は**【補足 1】**をご覧ください。

■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（袋ナット固定）

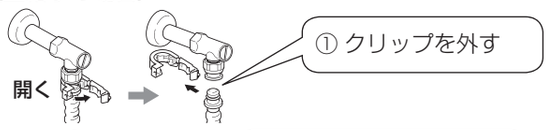




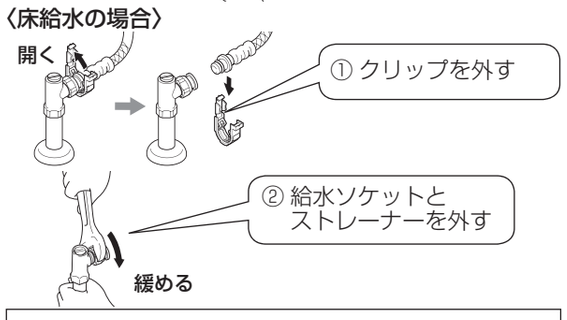
1. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。【参考 3-1 参照】

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

〈壁給水の場合〉

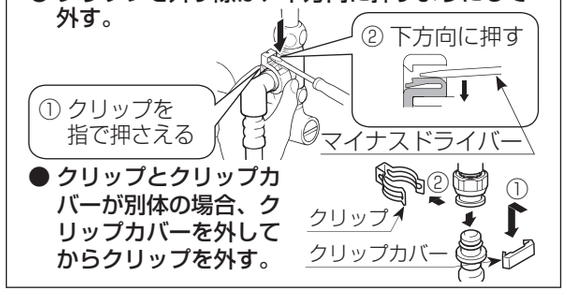


〈床給水の場合〉



【参考 3-1】

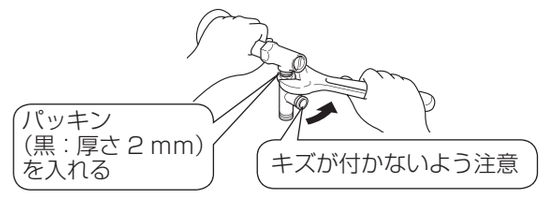
● クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。



● クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーを外してからクリップを外す。

2. 分岐金具を止水栓に取り付ける。

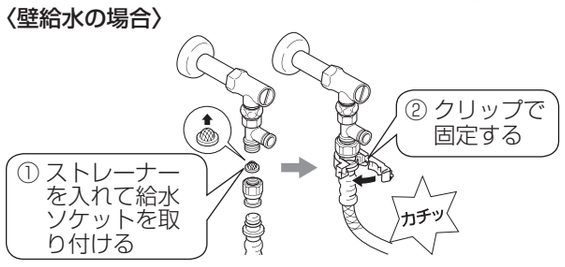
（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



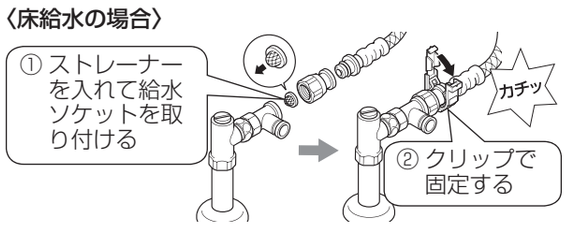
3. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。【注意 3-2 参照】【注意 3-3 参照】

（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉



※取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

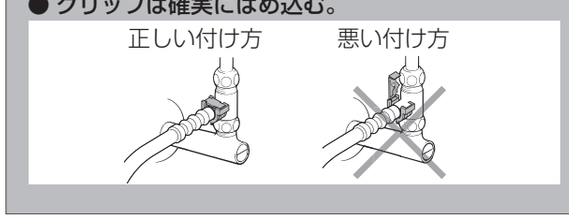
【注意 3-2】

● Oリングにキズを付けないように注意する。

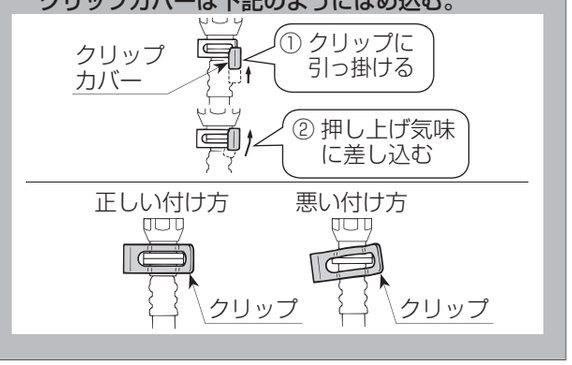
※Oリングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

【注意 3-3】

● クリップは確実にはめ込む。

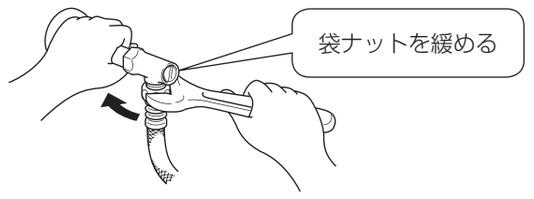


● クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。



1. 給水ホースを取り外す。

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



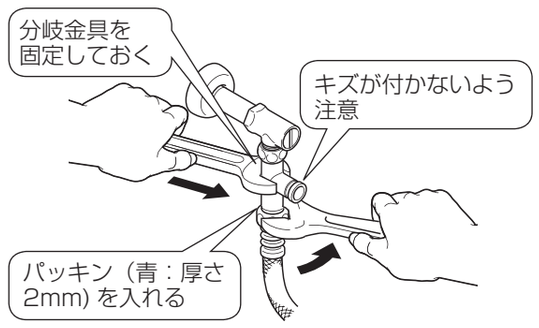
2. 分岐金具を止水栓に取り付ける。

（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

3. 給水ホースを取り付ける。

（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

※給水ホースがねじれないように注意してください。



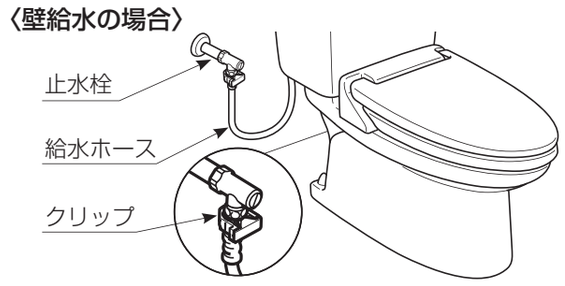
【注意 3-1】

● 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006(止水栓付) を使用する。

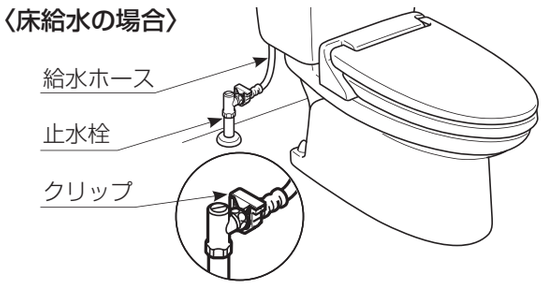
※漏水の原因になります。

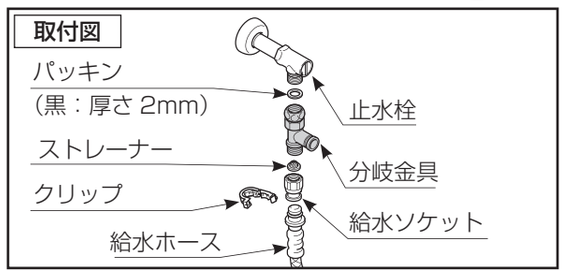
■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（クリップ固定）

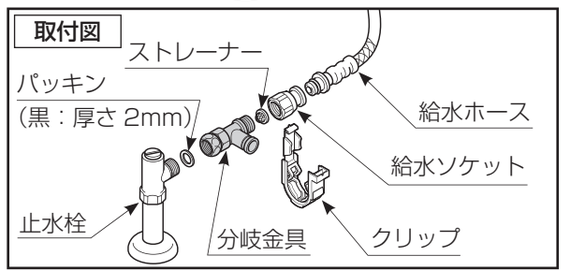
〈壁給水の場合〉



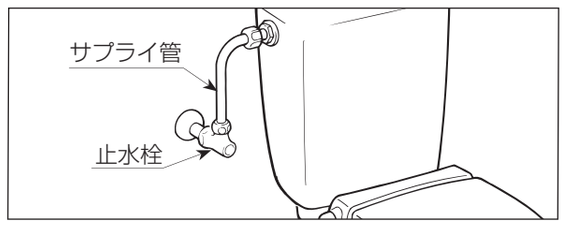
〈床給水の場合〉

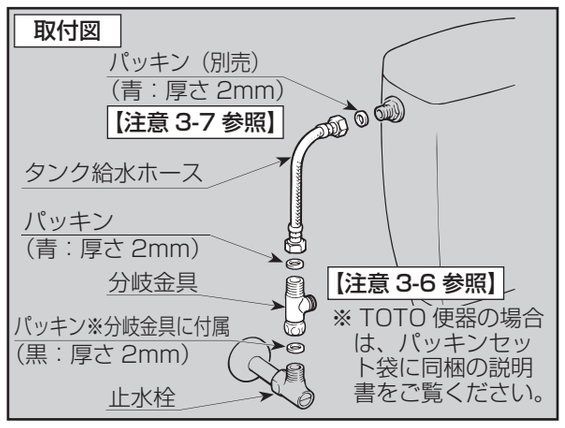






■止水栓とロータンクがサプライ管で接続されている場合

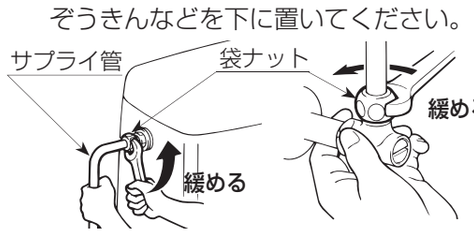




1. サプライ管を外す。【注意 3-4 参照】

タンク側と止水栓側の袋ナットを緩めてサプライ管を外します。

※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



2. 分岐金具を取り付ける。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。

（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

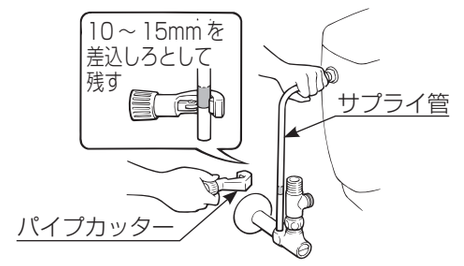
サプライ管を切断して取り付ける場合は、**【補足 1】**をご覧ください。

新たにタンク給水ホースを取り付ける場合は、**【補足 2】**をご覧ください。

補足 1 サプライ管を切断する場合の取付け【注意 3-4 参照】

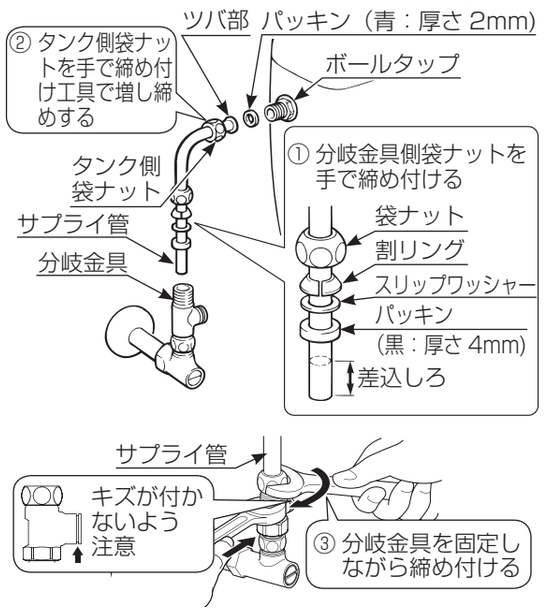
1. サプライ管（分岐金具側）を切断する。【注意 3-5 参照】

※サプライ管の切断にはパイプカッターを使用してください。



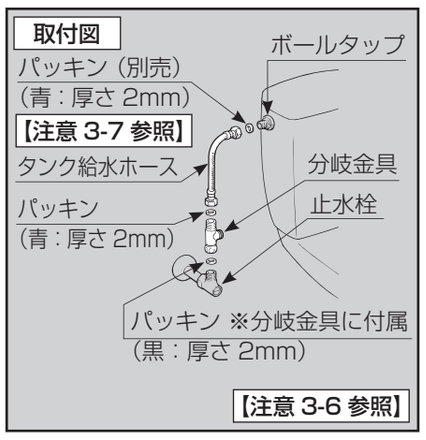
2. サプライ管を取り付ける。【注意 3-6 参照】【注意 3-7 参照】【注意 3-8 参照】

（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）

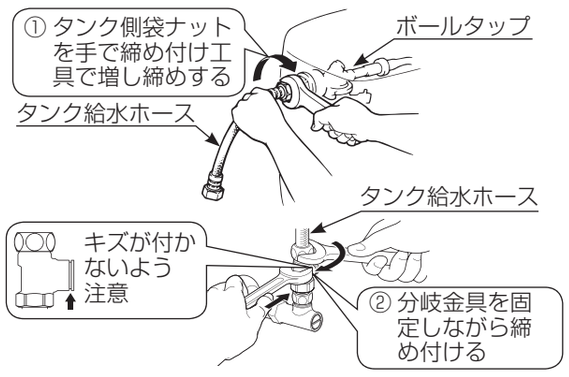


補足 2 タンク給水ホースの取付け

※【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。
（☞ P.3「便器の確認」3.）



1. タンク給水ホースを取り付ける。
【注意 3-7 参照】【注意 3-8 参照】【注意 3-9 参照】
※ 給水ホースがねじれないように注意してください。
（締付トルク 10 ～ 15N·m {100 ～ 150kgf·cm}）



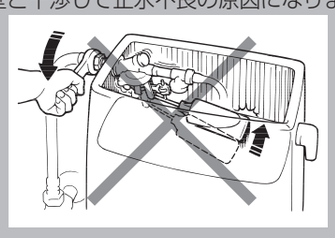
【注意 3-4】
- **止水栓やサプライ管に無理な力を掛けない。**
  ※破損して漏水する恐れがあります。

【注意 3-5】
- **サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。**
- **サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。**
- **止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。固定できない場合はタンク給水ホース（品番：CWA-24D）を使用する。**
  ※漏水の原因になります。

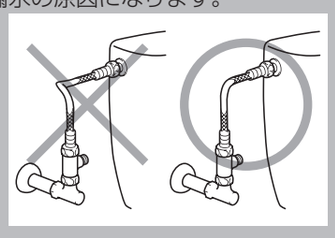
【注意 3-6】
- **各部品の向きと順序を間違えないようにする。**
  ※間違えると漏水します。
- **既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24D）を使用する。**
  ※漏水の原因になります。
- **サプライ管の接続は確実に行う。**
  ※漏水の原因になります。

【注意 3-7】
- **当社製ストレーナー付便器の場合は、別途手配のストレーナー付パッキン（品番：26-10-2）に交換する。このとき同梱のパッキン（青：厚さ 2mm）は取り付けない。**

【注意 3-8】
- **ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。**
  ※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

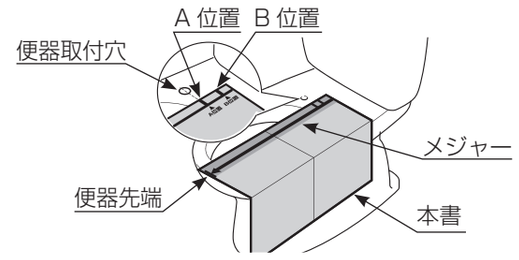


【注意 3-9】
- **タンク給水ホースは鋭角に曲げない。**
  ※破損して漏水の原因になります。
- **パッキンは必ず付属品を使う。**
  ※漏水の原因になります。



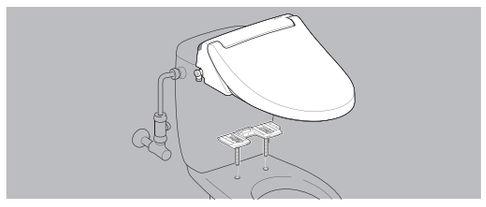
4 便器の取付穴位置の確認

便器の取付穴位置を確認する。
本説明書端の「便器先端位置」と便器の先端を合わせ、便器取付穴の位置が「A 位置」または「B 位置」か確認します。
※ メジャーは便器の中心に置いて測ってください。

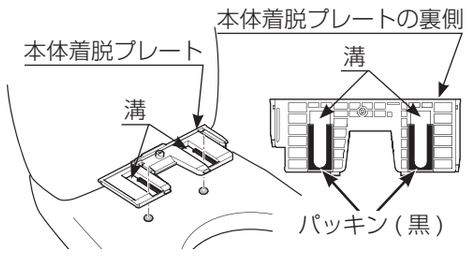


5 本体着脱プレートの取付け

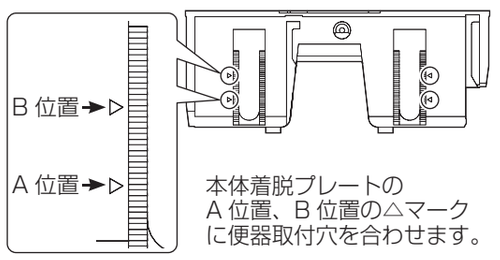
必ず同梱の着脱プレートを取り付けてください。



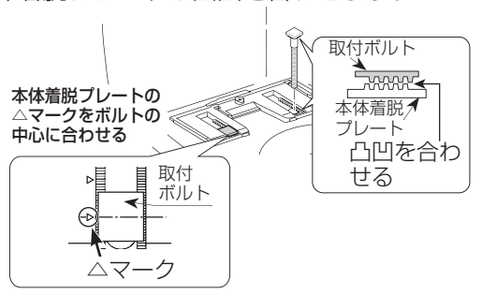
1. 本体着脱プレートを仮固定する。
【注意 5-1 参照】【注意 5-2 参照】
①本体着脱プレートのパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けて、本体着脱プレートの左右の溝から便器取付穴の左右の穴が見えるように置きます。



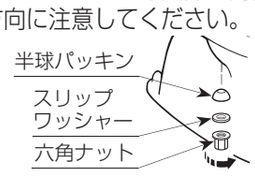
②「1. 便器の取付穴位置を確認する」で確認した便器取付穴位置が「A 位置」の場合は本体着脱プレートの A 位置、「B 位置」の場合は本体着脱プレートの B 位置に便器取付穴を合わせます。



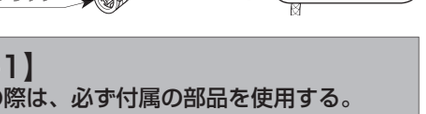
③本体取付ボルト 2 本を穴に差し込んで本体着脱プレートの凹凸を合わせます。



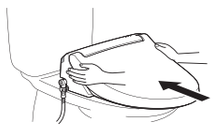
④本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通して六角ナットを手で取り付け、着脱プレートがガタつかないように仮固定します。
※ 本体取付ボルトの中心位置がズレないように手で押さえるなど、固定しながら締め付けてください。
※ ナット類や本体取付ボルトは樹脂製です。締め付け過ぎて破損しないように注意してください。
※ 半球パッキンは、球面部が陶器側ですので組付方向に注意してください。



2. シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する。
【注意 5-3 参照】
①本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
②本体着脱プレートの中心と本体の中心（凸部）を合わせます。

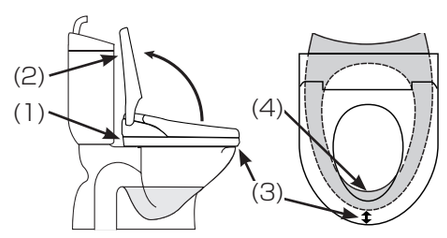


③本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。

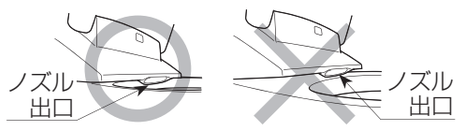


※「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなくなりません。
④以下の条件にあてはまる場合は、シャワートイレ本体を外して本体着脱プレートの位置を調整してください。

(1) シャワートイレ本体の背面がタンクに当たっている
(2) 便フタを開けると、便フタがタンクに当たり閉じてくる
(3) シャワートイレ本体の先端が、便器の先端より出すぎている（便器先端から便座が出る位置の目安は 5 ～ 20mm）
(4) 便器のフチが上から見えすぎている



(5) ノズルの出口が、便器のフチに乗り上げていたり、干渉したりしている。



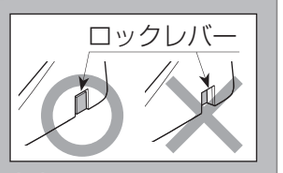
※ 本体の外し方は本ページの「シャワートイレ本体の外し方」を参照してください。
※ 本体着脱プレートを調整する際は、A 位置、B 位置を目安に、上の条件が解消されるように調整してください。

3. シャワートイレ本体を外してから、取付ボルトをしっかりと締めて、本体着脱プレートを固定する。
【注意 5-1 参照】【注意 5-2 参照】
手で六角ナットを回して、本体着脱プレートがガタつかないよう確実に固定します。手で締めた後、モンキーレンチまたはスパナ類で 2 回程度回してください。
(参考 : 締付トルク 2.0 ～ 2.5N-m{20 ～ 25kgf・cm})
※ 本体の固定が不十分だと、製品の取付け時にガタつく恐れがあります。

【注意 5-1】
- **ボルトの締付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。**
  ※ 締付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

【注意 5-2】
- **ナット類や取付ボルトは樹脂製なので、必ず手で締め付ける。**
- **半球パッキンは、球面部が陶器側になるよう、組付方向に注意する。**

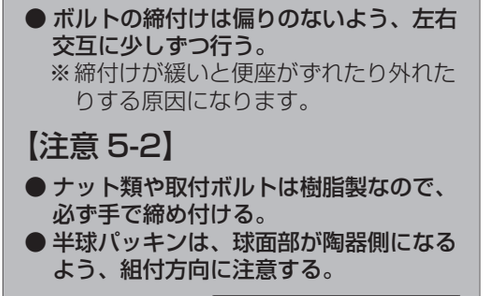
【注意 5-3】



- **本体右側にあるロックレバーが元の位置に戻っていることを確認します。**
- **ロックレバーが奥に入った状態では、本体と本体着脱プレートが固定されておらず、本体が便器から外れる可能性があります。**
- **本体を奥に突き当たるまで押し込み、しっかり固定させてください。**

■ シャワートイレ本体の外し方

本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、**手前に**スライドさせます。

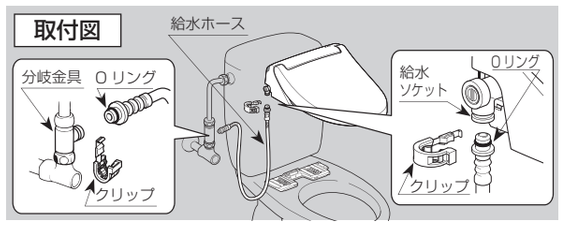


6 シャワートイレ本体の取付け

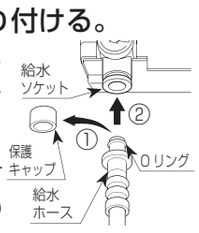
シャワートイレ本体を確実に取り付ける。
【注意 5-3 参照】
5 -2. ①～③ (☞ P.10「シャワートイレ本体を取り付け、設置の状態を確認する」) の手順でシャワートイレ本体を確実に取り付けてください。
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはなくなりません。

7 給水ホースの取付け

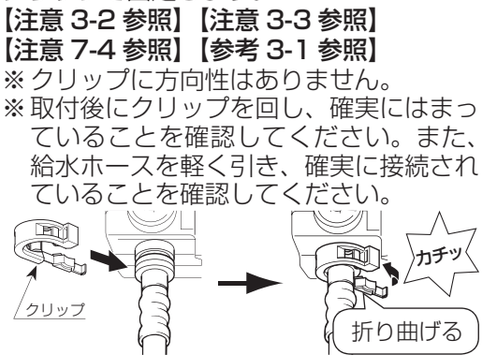
【注意 7-1 参照】【注意 7-2 参照】



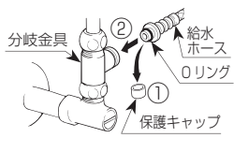
1. 給水ホースを本体側に取り付ける。
①保護キャップを外します。
②給水ホースを差し込みます。
【注意 3-2 参照】
【注意 7-3 参照】
※ 給水ソケットが回転しますが、これは構造上によるもので故障ではありません。



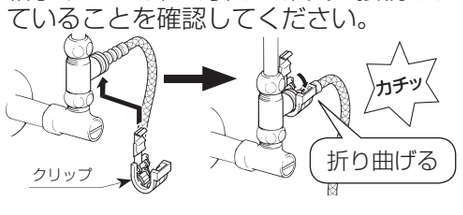
③クリップで固定します。
【注意 3-2 参照】【注意 3-3 参照】
【注意 7-4 参照】【参考 3-1 参照】
※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. 給水ホースを分岐金具側に取り付ける。
①保護キャップを外します。
②給水ホースを差し込みます。
【注意 7-3 参照】



③クリップで固定します。
【注意 3-2 参照】【注意 3-3 参照】
【注意 7-4 参照】【参考 3-1 参照】
※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



【注意 7-1】
- **取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。**

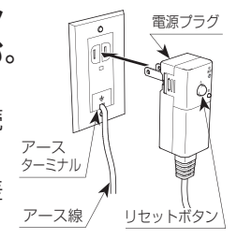
【注意 7-2】
- **電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。**

【注意 7-3】
- **給水ホースが折れ曲がってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。**
  ※破損して漏水する恐れがあります。

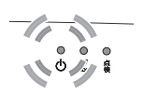
【注意 7-4】
- **クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にはめ込む。**
  ※漏水の原因になります。

8 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
【注意 8-1 参照】
①アース線を接続します。
②電源プラグを差し込みます。
※ このとき、おしりノズルが約 10 秒間伸び出てから戻ります。



2. 電源が入っていることを確認する。
本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。



⚠ 警告

アース接続

確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 8-1】
- **電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。**
  ※電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。
- **リセットボタンを押しても電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電していないかを確認する。**

9 リモコンの位置決め・取付け

本書では壁リモコンについて説明しています。壁リモコン以外の施工方法については、リモコンに同梱されている施工説明書をご覧ください。

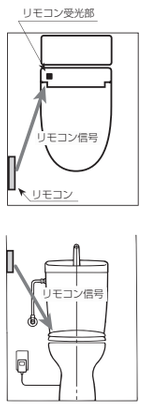
必ず確認してください！

●リモコン信号を確実に受信するために

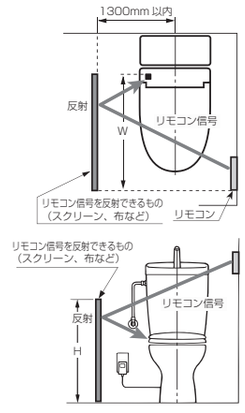
リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁（向かって左側）に取り付けてください。

必要上、反対側（右側）の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、リモコン受光部側の壁が洗面台等で便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から 1300mm 以内にリモコン信号を反射できるもの（スクリーン、布など）を設置してください。
リモコン信号を反射できるもの（スクリーン、布など）の寸法は高さ (H)1100mm 以上、幅はリモコン受光部からリモコン設置位置まで (W) を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）

左側の壁にリモコンを取り付ける場合



左側の壁にリモコンを取り付ける場合

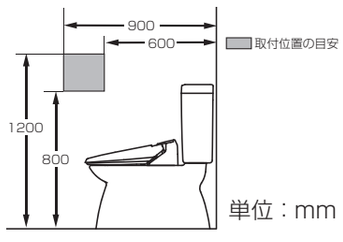


※ 向かって右側に取り付ける場合、できる限り「使いやすい位置の目安」の範囲に取り付けてください。

●リモコン取付位置

リモコンは操作できる範囲内に取り付けてください。

下図の「取付位置の目安」の範囲で、便座に座った状態で操作しやすい場所に取り付けてください。
万一、シャワートイレが作動しない場合、リモコンの位置を変えるか反対側の壁で確認してください。
※ インバーター照明やトイレ環境によりシャワートイレが作動しないことがあります。
※ リモコン信号を受信しない場合、障害物を確定し、その障害物を移動させるか、または移動が不可能であれば、リモコンの取付位置を移動させます。



単位：mm

●必ず便座に座って確認してください。【注意 9-3 参照】

リモコンを取り付けようとする位置に仮置き、実際に便座に座って【止】を押します（施工完了後の試運転も必ず行ってください）。

その後、便器前に立ち【止】を押して、本体表示部の電源ランプが点滅する（受信正常）ことを確認します。

- 【おしり】や【ビデ】を押すと水が噴出しますので注意してください。
- リモコン取付位置の上方にリモコンを脱着する際に必要なスペースが十分あることを確認してください。

併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために

【注意 9-1 参照】

シャワートイレを併設する場合は、他ブースのシャワートイレも反応し誤作動を起こす恐れがあります。
このような場合は、お買い上げのリモコンを使い信号変更ができます。リモコンの発信信号とシャワートイレ本体の受信信号を共に変更してください。

1. リモコンの発信信号の変更

①リモコンの電池をいったん外します。
②下図の信号表に応じたスイッチを押しながら、電池を取り付けそのまま６秒保持します。
※ 1 20 秒保持してください。

信号番号	操作スイッチ	電池マーク点滅回数
信号 1	温水温度	1 回点滅
信号 2	便座温度	2 回点滅
信号 3	節電入 / 切	3 回点滅
信号 0	ノズルそうじ	4 回点滅

信号番号	操作スイッチ	電池マーク点滅回数
信号 4	洗浄強さ－	5 回点滅
信号 5	洗浄強さ＋	6 回点滅
信号 6	おしり※ 1	7 回点滅
信号 7	ビデ※ 1	8 回点滅

※お買い上げ時、「信号 0」となっています

③発信信号が変更された時、リモコン右下の電池マークが点滅します。
（変更された信号により、点滅回数は異なります。）

2. 本体の受信信号の変更

①変更する機器の電源プラグをいったん抜きます。
②再度、電源プラグを差し込んでから、10 秒以内に【止】を 10 回以上連続で押します。

【注意 9-1】

- **上記作業は、屋内（設備）のブレーカーで電源の入 / 切を行わない。**
  ※同時に複数機の電源を入れると、他機の受信信号も変更される恐れがあります。
  ※機種によっては、設定できない信号があります。

10 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

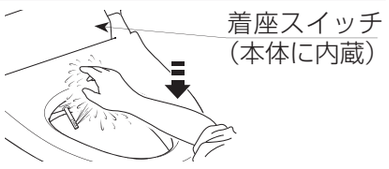
●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。

	チェック欄	確認内容	
漏水確認		漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。（給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。）	
	□	① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	□	② 本体と給水ホースとの接続部	

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 10-1 参照】【注意 10-2 参照】【注意 10-3 参照】



1. 電源が入っていることを確認する。
2. 便座を押し下げ、着座スイッチを入れる。

確認機能	チェック欄	確認内容
おしり ノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	□	2.【止】を押すと温水が止まりますか？
ビデ ノズル	□	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ①【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。
	□	2.【止】を押すと温水が止まりますか？

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容
暖房便座	□	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？

【注意 10-1】

- **インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。**

【注意 10-2】

- **着座スイッチがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。**

【注意 10-3】

- **タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。**
  浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
  1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
  2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。

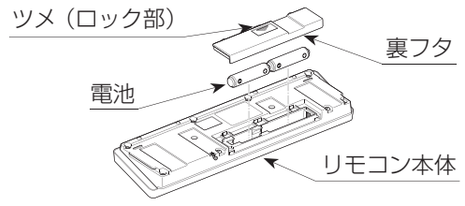
施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客さまに必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

施工方法

1. 電池の装着・リモコン取付位置の確認

1. リモコンの裏フタを開け、付属の電池（単三形２本）を入れます。【注意 9-2 参照】
   ※裏フタが開けにくい場合、マイナスドライバー等の工具でツメ（ロック部）を押えて外してください。
2. リモコンの取付位置を確認します。（☞ 13 ページ）

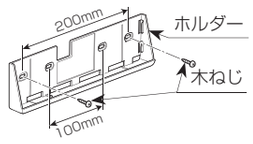


2. リモコンの取付け

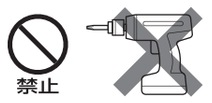
1. ホルダーをリモコン本体から外します。
2. ホルダーを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。【注意 9-3 参照】【注意 9-4 参照】

【厚みが 5mm 以上の合板壁の場合】

ホルダーを付属の木ねじでしっかりと固定します。

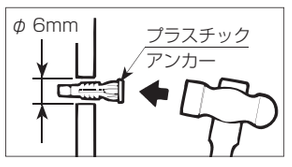


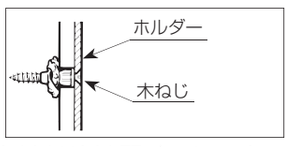
【注意 9-4 参照】



【厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボード壁の場合】

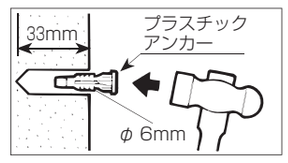
① 直径 6mm の下穴をあけます。（石膏ボードは 5mm）
② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。
締め付けていくとはじめは堅く、いったんゆるくなって再び堅くなります。

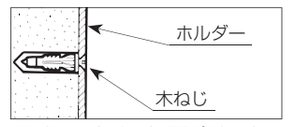




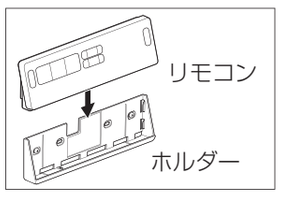
【コンクリートの場合】

① 直径 6mm、深さ約 33mm の下穴をあけます。
② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
③ ホルダーを木ねじでしっかりと固定します。





3. リモコンをホルダーの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。
   ※リモコン本体をやや手前に傾けながら、ゆっくりと取付け・取外しして下さい。壁に傷を付ける可能性があります。



【注意 9-2】

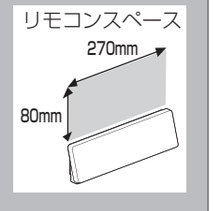
- **電池のプラスとマイナスの向きを間違いのないように入れる。**
- **電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しない。**
- **同梱の電池を使用する。**

【注意 9-4】

- **電動工具は使用しない。**
  ※部品が破損する恐れがあります。

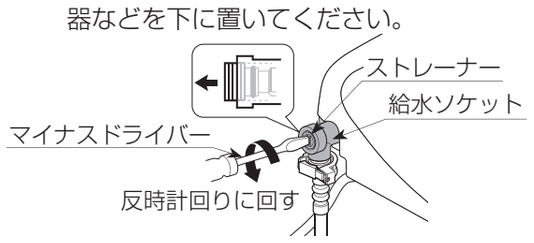
【注意 9-3】

- **リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペース（右図参照）が十分あることを確認する。**



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

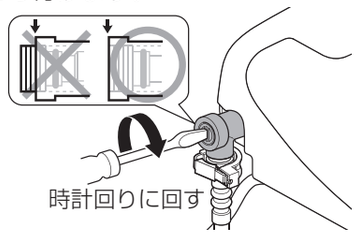
1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。
   ※止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2.【ノズルそうじ】を押す。
3. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら、中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。【注意 11-1 参照】
   ※このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



※ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

[注意]
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

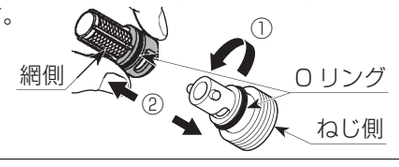
4.「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。
5. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に締め付ける。
   ※ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。



[取付時の注意]
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりはまっていることを確認してください。

6.「止水栓」を元の位置まで開く。
7. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

- **ストレーナーの汚れがひどい場合は**
  ストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
  ※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
  ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
  ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。



【注意 11-1】

- **ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり締める。**
- **ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。**
  ※O リングにゴミが付着していると、漏水し室内浸水の原因になります。

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1.「止水栓」を閉めて、給水を止める。
   ※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2. 洗浄ハンドルを「大」の方へ操作し、ロータンク内の水を抜く。
3. 本体給水ホースから水を抜く。
   ①「ストレーナー」の下に洗面器などを置く。
   ②給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に取り除く。
   ③止水栓から本体給水ホースを取り外し、ホース内の水を完全に抜く。
   ④本体給水ホースを止水栓に取り付ける。
   ⑤水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付ける。【注意 11-1 参照】
4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。
5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。
6. 止水栓部から水漏れしていないか確認する。

[注意]
ストレーナーを外す際に、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

PCW-1386(20100)